

USER REPORT

株式会社若草印刷

導入機種：DIAMOND V3000LS-5 + ecoUV 2012年2月ご導入



萩原 伸一 工場長

「ecoUVシステム」で仕事の幅を広げ、リードタイムも短縮 インキ乾燥不良に関する事故防止と 紙以外の原反を使った 高付加価値印刷市場への進出を目指す。

株式会社若草印刷は、チラシをメインにした商業広告全般の企画・デザイン・撮影・制作から印刷・加工までを手掛ける総合印刷会社である。4台のB縦半截オフ輪を有し、2台は4/4色機、残りの2台は5/5色機という特徴的なラインアップを敷いている。このような同社が2012年2月、インキ乾燥やパウダーに関する事故防止や紙以外の原反を使った高付加価値印刷市場への進出を目指して、菊全判寸伸び5色ニスコーター付印刷機DIAMOND V3000LS-5 + ecoUVを導入。160WのオゾンレスUVランプ1灯と高感度UVインキを組み合わせた省電力タイプのUV印刷システム「ecoUVシステム」を搭載している。その狙いについて、同社製造加工本部の萩原伸一工場長に話を聞いた。

自動化で小ロットの仕事に効果 ワンマンオペレーションを実現

チラシの制作はスケジュールが非常にタイトだ。夜に入稿されたものを、翌朝に出荷することも珍しくない。そのようなタイトなスケジュールの仕事は枚葉オフセット印刷機で行う場合は、当然「裏付き」などのインキ乾燥にまつわるリスクを抱えながらということになる。実際に刷り直しをするケースもあった。

「裏付きやキズ・コスレ、協力会社に外注している製本工

程におけるトラブル、パウダーのボタ落ち、さらには色を再現したくてもインキを盛り切れないケースなど、インキ乾燥にまつわる事故がある程度の頻度で起きていました。事故が起ると、単純に刷り直しによる金額面の問題だけではなく、お客様からの信頼を失うことにもなりかねません。そして同じ仕事を2度行うことによるタイムロスも発生します」と、萩原工場長は当時を振り返る。

このような課題を解決するために同社が白羽の矢を立てたのがDIAMOND V3000LS-5 + ecoUVシステム付だった。導入に際してはさまざまなタイプのUV印刷機を比較・検討し、省電力タイプの「ecoUVシステム」を選択した。

「20年近く稼働してきた菊全判4色機から『ecoUVシステム』搭載機に変えたことで、納期がタイトなものでも安心して印刷できるようになりました。導入後、印刷にまつわるクレームはゼロになっています。通常は、排紙部において160Wのランプ1灯で照射して、絵柄の重さで判断してUV出力量を3段階で調整し、毎時1万1,000回転位で稼働しています。断裁時に気をつかう必要もないので、オペレーター達も高く評価しています」（萩原工場長）

同社では枚葉オフセット印刷機は1台を1人でオペレーションする体制をとっているため、オペレーターになるべく作業負担をかけないように、各種の自動化を推進している。その点もDIAMOND V3000LS-5 + ecoUVの選択の理由になった。

「全自動版替え装置をはじめとした一括準備が魅力的でした。印刷機が自動で版替えをしてくれる間にオペレーターは他の作業ができます。時間の面でも労力の面でも効率化が進み、こなせるようになったジョブ数も上がりました。また極小ロットの仕事も効率良くこなすために、インキの乾燥待ち時間が不要になったことを活かして、両面カラー印刷の仕事では、複数ジョブの付け合わせやどんてん打ち返しで行うケースも多くなりました。使用する刷版の



DIAMOND V3000LS-5 ecoUVシステム付き

「油性印刷ではできないような 商業印刷以外の仕事の取り込みを狙っている」

数も減らすことができ、しかも乾燥待ちについては表面と裏面2回分の時間短縮となるので、とても重宝しています」と、萩原工場長は評価する。

UVで新しいアプリケーション 潜在需要掘り起こしにつながる

導入したDIAMOND V3000LS-5 + ecoUVは仕事の先行きを考慮して、5色+ニスコーター付のモデルとなった。

「導入の主な目的は、油性印刷ではできないような商業印刷以外の仕事の取り込みです。それは、パッケージ印刷であったり、また紙以外の原反への印刷もあります。どちらのアプリケーションを制作するにせよ、特色や白インキ、ニスを使用することが見込まれるので、5色+ニスコーター付のモデルを選択しました。また、ページ物だけでなく、パッケージ印刷を視野に入れていたので、菊全判寸伸びというサイズが必要になると判断しました」(萩原工場長)



用途に応じて任意の胴間に取り付けられるインターデッキUV乾燥装置

社内CMS環境にも適応して ジャパンカラー認証も視野に

「印刷品質は油性印刷と変わりありません。また、このDIAMOND V3000LS-5 + ecoUVには、オペレーションスタンドに自動カラー測定システムが付いていて、抜き取った印刷物のカラーパッチを読んで標準濃度との誤差があれば、自動的に印刷機へ補正のフィードバックをかけてくれます。そのため、品質が常に安定するとともに、濃度管理もできる。カラーマネジメントのサポートをしてもらったインキメーカーからも、Japan Color 認証に対応できる範疇に入っているという話をもらっています」(萩原工場長)



オペレーションスタンドにある自動カラー測定システムで安定した色環境を実現

世界遺産に関する印刷製品で 増大する観光客の心をつかむ

同社の近隣には、ユネスコ世界文化遺産の登録を目指している観光地「富岡製糸場と絹産業遺産群」があり、同社もその実現を後押しする協力を行っている。

「ユネスコ世界文化遺産に登録されると、今よりも多くの観光客が訪れることが予想されます。そこにはビジネスチャンスも生まれることでしょう。当社は企画部門にも力を入れていて、このDIAMOND V3000LS-5 + ecoUVによって、提案できる幅が広がっています。訪れた観光客に『富岡製糸場と絹産業遺産群』の魅力をより多く伝えていけるような印刷製品を提供していければと思っています」(萩原工場長)と、身近にできるであろう潜在市場の開拓にも意欲を見せられている。

株式会社若草印刷

住所 本社：群馬県富岡市黒川710-1
代表 代表取締役社長 田村 英三
創業 1964年
TEL 0274-62-1806



<http://www.wakakusa.ne.jp/>

※このユーザーレポートは(株)日本印刷新聞社発行の『印刷界』2013年4月号から引用し、再編集したものです。

リョービMHIグラフィックテクノロジー株式会社

本社	〒726-0002	広島県府中市鞆町800-2	0847-40-1600
営業本部	〒114-0003	東京都北区豊島5-2-8	03-3927-3300
東日本支社	〒114-0003	東京都北区豊島5-2-8	03-3927-1031
札幌支店	〒062-0937	北海道札幌市豊平区平岸七条14-3-48	011-831-2501
仙台支店	〒983-0034	宮城県仙台市宮城野区扇町4-2-38	022-237-6210
新潟営業所	〒950-0993	新潟県新潟市中央区上所中1-2-12	025-384-0275
中日本支社	〒468-0034	愛知県名古屋市中区久方1-145-1	052-807-1671
西日本支社	〒569-1135	大阪府高槻市今城町24-12	072-685-1171
高松営業所	〒761-8057	香川県高松市田村町1095-1	087-866-1051
広島営業所	〒736-0082	広島県広島市安芸区船越南3-7-29	082-823-0068
福岡支店	〒811-2305	福岡県糟屋郡粕屋町袖須107-1	092-623-5005

■代理店